

平成 2 5 年 度
第 4 委 員 会 報 告 資 料

一般財団法人福岡市交通事業振興会への
委託業務の見直しについて

平成 2 6 年 3 月 1 0 日
交 通 局

一般財団法人福岡市交通事業振興会への委託業務の見直しについて

交通局所管の一般財団法人福岡市交通事業振興会へ行っている委託業務について、第3次外郭団体改革実行計画等を踏まえ、業務を分割し交通局から直接事業者へ委託契約することが可能であるものについて見直しの検討を行ったもの。

1 経緯

(1) これまでの委託業務の見直し

第2次外郭団体改革実行計画(計画期間:平成20年度～平成23年度)において、安全性・お客様サービスを確保するとともに交通事業振興会が第三者に再委託している委託業務について、再委託と交通局の直接委託との比較検証し、交通局からの委託事業については委託費の縮減、振興会が自ら行う事業については、業務の効率性の他、事業に係る人員、経費の縮減などの視点により事業の見直しを検討した。

その結果、乗車券発売事業、人的管理を要しない売店等事業について、振興会が行うことの優位性が薄れてきたことから、平成25年度から交通局が行うこととした。

(2) 第3次外郭団体改革実行計画における改革の方向性

平成25年8月に新たに策定された第3次外郭団体改革実行計画における改革の方向性において、交通事業振興会は、「市との随意契約のあり方について検討する団体」とされており、市との随意契約について、その妥当性を検討するとともに、必要に応じて事業の見直しを行う団体に位置づけられている。

(3) 公正入札監視委員会による意見書

平成25年度の公正入札監視委員会において、外郭団体との随意契約については、競争性のある契約形態への移行を今後とも積極的に進めていくことが求められている。

これらを踏まえ、交通局においては、交通事業振興会への委託業務について再検証し、契約のあり方について検討を行った。

2 委託業務の見直し(案)の内容

(1) 清掃業務

(平成24年度決算額 465,443千円)

地下鉄の各駅清掃及び車両清掃並びに車両基地等の清掃業務については、業務の特殊性・専門性や一括して委託することの効率性の観点から、交通事業振興会の設立以来、振興会に委託を行っている。

清掃業務については、現場業務と管理監督業務を分割し委託することが可能であり、現場業務については、振興会から再委託を行っている状況であることから、交通局が直接、清掃業者と契約を行うこととする。

管理監督業務については、高压架線に近接するホーム側壁や軌道内での作業など危険を伴う清掃場所等の特殊性があり、また、地下鉄に精通した局退職職員を有する振興会を活用した方が経費面でも有利であることから、引き続き、振興会へ委託することとする。

見直しの時期については、振興会が行った現場業務の平成25年度契約における公募型指名競争入札参加要領において、委託期間を誠実かつ適正に業務を履行した場合、契約の次年度から2年間は、当該契約の相手方と随意契約を行うことができると明記しており、適正に業務が履行されている限りにおいて、相手方と契約を継続する必要があることから、平成28年度業務委託分より実施する。

(2) 広告業務

(平成 24 年度決算額 89,152 千円)

広告事業は、広告主（クライアント）へのきめ細やかな対応を行うことで信頼関係を築き、収益をあげているものであり、この広告料収入は、運輸収益とともに貴重な収入である。（平成 24 年度広告料収入 1,098,069 千円）

広告業務については、「募集」、「申込・受付」、「広告代理店の指定」、「広告料金の収納補助」、「広告の掲出・撤去」及び「電照広告の保守」の一連の業務を交通事業振興会へ委託している。

そのうち、運行の合間を縫って行う車両内の「広告の掲出・撤去」や、終電後に行う軌道上での「電照広告の保守」については、広告主や保守部門との綿密な作業工程の調整のうえ、夜間作業の立会等安全性と迅速性を確保しなければならない特殊な作業である。

このため、これらの管理監督業務については、地下鉄業務に熟知した職員を有する振興会が行い、現場作業のみを振興会が再委託をしているものである。

これら、一連の広告業務を振興会が一貫して行うことで、広告主に対する窓口を一元化し、責任の所在を明確にするとともに、各段階において的確且つきめ細やかな対応ができるなど、広告業務を効果的かつ効率的に実施でき、また、振興会は、地下鉄に精通した局退職職員を弾力的に活用し、地下鉄広告事業のノウハウを蓄積してきており、局が実施するよりも経費面においても有利であることから、振興会と契約を行っているところである。

しかしながら、今後も社会情勢の変化等を踏まえ、引き続き、契約のあり方について検討していく。

